学校評価だより(2 学期)

武雄市立東川登小学校 平成 31 年 3 月 14 日



30年度もあとわずかとなりました。保護者・地域の皆様には、この1年、いろいろな学校教育場面でご協力いただきました。本当にありがとうございました。

さて、1月に、児童と保護者の皆様対象に、学校評価の2学期アンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。保護者用の全体集計結果を下のようにグラフ化しました(アンケート回収率98%)。

裏面には、1学期調査で「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた数値が90%に満たなかった設問について、2学期の結果を分析しています。





※数字は人数を表しています。

1 ~ 7 学校・学校経営に関すること

8~14 子どもさんに関すること

15~20 保護者自身に関すること

・・・よくあてはまる

…だいたいあてはまる

…・・・・全くあてはまらない

全体的に、1 学期の結果よりもやや良い結果となっています。子どもたちが学校生活に慣れ、落ち着いて過ごすことができているからではないでしょうか。保護者や地域の皆様の見守り、ご協力に感謝いたします。

1学期の結果、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」が90%に達していなかった5つ 『の項目のうち、『15 学校の教育目標を知っている』は、87.8%から93.3%に向上していました。『学校と家庭が同じ目標のもと、子供達を育てる上で学校教育目標の認知度はとても重要になってきます。

『9 基礎・基本の定着』につきましては、85.4%→86.5%と保護者の方々の意識は、ほぼ横ばいですが、全国と県の学力テストにおいては、全国や県平均を下回っている教科が多かった 4 月テストと比較して、12 月は 4.5.6 年生において、ほとんどの教科で県平均並みの結果となりました。学力は、少しずつではありますが向上しています。引き続き、授業の工夫や家庭学習の充実を通して学力向上に取り組んでいきます。

『12 家庭学習を決まった時間行っている』は、66.7%→70.0%と課題は残りますが確実な伸びが見られます。「学力向上だより」や「まなぶくん」を通じた、家庭と学校が連携した取組が効果を上げ始めていると考えられます。『17 家庭学習の充実・習慣化に向けて、学校と連携して取り組んでいる』も90.0%→93.3%という高い数値でした。家庭学習の充実は、基礎・基本の定着をはじめとした学力向上には、必要不可欠です。まずは、日々の家庭での学習時間を最低でも各学年の目標時間、確保できるようにご家庭での工夫をよろしくお願いします。1.2 年生20 分以上、3 年生30 分以上、5 年生50 分以上、6 年生60 分以上です。

『11 テレビやゲームの時間 90 分以内(平日)』につきましても、68.9%→71.9%と高まりが見られました。12 月の学級懇談会の冒頭で、「ほけんだより(家庭でのテレビ・ゲーム・SNS の時間について)」をお配りしてお願いをしましたが、学校と同じ目標のもと、各家庭で取り組んでいただいていることが分かります。しかしながら、依然として早急な改善が望まれる本校の課題です。学力向上につながる家庭学習時間の確保、習慣化のためには、テレビ・ゲーム・SNSの時間など生活習慣の改善が急務です。ご家庭でもお子さんと、約束を決めて取り組んでください

『10よくあいさつをしている』については、86.7%→88.8%でした。今後とも、家庭、学校、地域で大人が手本となったり、挨拶の大切さを教えたりしながら挨拶のできる子供達に育てていきましょう。

★ ご意見に対する回答、方策等

登下校の交通事故等を心配するご意見がありました。新幹線の工事や最近では年度末の公共工事で校区に工事箇所が増え、大型トラックや重機をよく目にします。先日、具体的な事例を入れながら、登下校や休みの日の事故防止について指導をしたところです。春休み前にも、繰り返し指導します。ご家庭でも、ぜひ話題にしてください。

また、下校時に歩いて帰宅することが多い子供達を再度把握するために、調査を行いました。この名簿を使用して、犯罪被害防止のためにできるだけ一人で帰ることがないようにしたり、夏は熱中症予防対策を行ったりしていきます。

二学期制については、「二学期制に対しては、特に意見はない。学校行事にも満足している。」「特に悪い点はなく、充実していると感じている。」「二学期制のメリットについてあまり感じられない。」「意義やメリットを理解していない。」等のご意見をいただきました。今後、二学期制の意義やメリットについてご説明させていただく機会を設けます。